

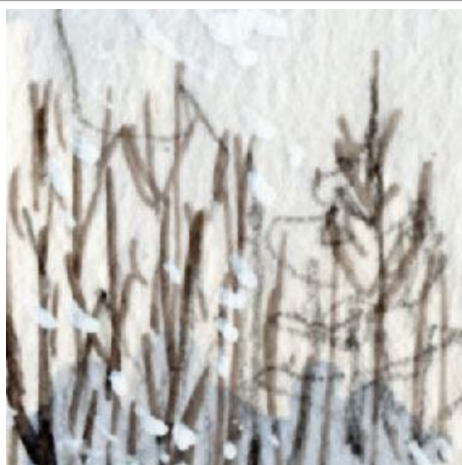
5月に入って暑いくらいの日になりましたが どうしても雪の駅を描いておきたいと思いました 廃止になった札沼線の末端区間では 一日一往復だけの列車に 一人も乗客がなかった日もあったそうです それでも たとえ吹雪の日でも 列車はちゃんと運行され定刻に発車していました 車掌さんもないワンマン運転 終着駅で誰もお客さんがいなかったら 運転士さんはさぞ淋しかったでしょうね



これが完成した絵です



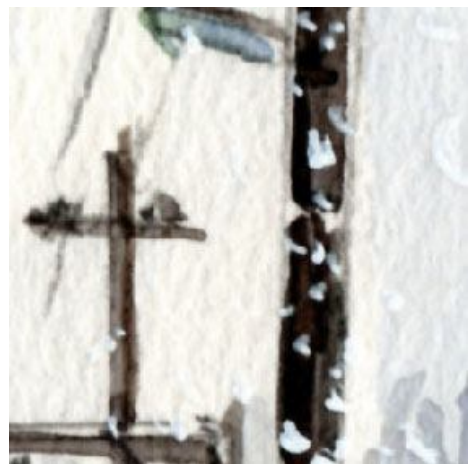
1、雪粒は「修正液」で描きました 吹雪の様子を表現する為に 斜めに少し長く描きました



2、冬枯れの落葉松の手前に降る雪粒はこの構図では効果的です



3、主題の一つの気動車 乗り込む運転士さんを描こうか迷いましたが 描かないほうが雰囲気が出ると思いました



4、木製の電信柱は この構図では非常に重要です 手前に降る雪粒も目立つので効果的です



5、駅舎の屋根に積もる雪は 縁にブルーの影をつけることで 立体的になります



6、遠くの木々を薄いシルエットで描くと 吹雪で霞んでいる様子を表現できます